



To 松本エリアのイクママ&イクパパ From 松本市立病院

# 市立病院通信

医療スタッフ  
リレーコラム

## 第2回 妊婦さんのインフルエンザ感染症



院内で行われる「ママフィット」。寒くても、みんな元気いっぱい!

■松本市立病院の産科・小児科医師、助産師、栄養士などの医療スタッフが、それぞれ専門の立場で執筆を担当。地域のママ・パパ(ブレママ・ブレパパ)に向けて、お知らせしたい医療情報や旬の話題などを月替わりでお届けします。

こんにちは。松本市立病院産婦人科の齊藤です。今年もインフルエンザが猛威を振るう季節になりました。今回は妊婦さんのインフルエンザ感染症についてお話させていただきます。

### Q1 妊婦がインフルエンザにかかると、どうなりますか？

インフルエンザは主に冬期に流行するインフルエンザウイルスによる感染症で、38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等の症状を認めます。インフルエンザは病原性が強いウイルスなので、妊娠にさまざまな影響を与えます。治療の進歩により、インフルエンザに罹った妊婦さんが亡くなることは稀になりました。しかし、妊娠による心拍数の増加、免疫機能の低下等により妊婦さんがインフルエンザに罹ると、肺炎等の重篤な合併症を発症する危険性が、非妊婦に比較して高くなります。

また、インフルエンザにより肺炎の発症、39度以上の高熱をきたした場合には早産、胎児の心拍数異常による帝王切開の危険性が高くなると言われています。

### Q2 インフルエンザの胎児への影響は？

インフルエンザによる高熱で、胎児の心拍数異常が認められやすくなりますが、解熱によりこの所見は回復することもあります。

また、妊娠初期にインフルエンザに罹った場合、胎児の心奇形や神経管閉鎖障害等の出生児の先天奇形がみられるとの報告もあります。

### Q3 インフルエンザへの対策は？

人込みあるいは感染者との接触を避けること、手洗い、うがいを励行することがまず基本です。しかしこれだけではインフルエンザを完全に予防することはできず、現時点で最も有効なインフルエンザ対策はインフルエンザワクチンの接種です。ワクチンを接種していれば、仮にインフルエンザに罹ったとしても、肺炎等の重篤な合併症、死亡等の危険性を軽減させる効果があります。

### Q4 インフルエンザワクチンは妊娠中に接種できますか？

アメリカ産婦人科学会、アメリカ小児科学会はインフルエンザシーズンにおける妊婦へのインフルエンザワクチン接種を推奨しています。日本においても、インフルエンザワクチン接種の母体及び胎児への危険性は妊娠全期間を通じて極めて低く、ワクチン接種を希望する妊婦さんには接種しています。ただし、インフルエンザワクチンには微量ながら卵由来の成分が残っている可能性があるため、卵アレルギーの妊婦さんへの接種は避けるか、あるいは十分に妊婦さん本人の承諾を得た上で注意して実施しています。

また、どんなワクチンでも約100万人に1人の極めて稀な頻度で神経系の障害を残すことが報告されています。しかしこれは妊婦さんに限ったことではなく、いかなる年齢層でも他のワクチンでも同じ確率で発生すると言われています。

### Q5 インフルエンザワクチンの胎児、妊婦への安全性は？

現在使用されているインフルエンザワクチンは、病原性をなくしたウイルスの一部を使用した不活化ワクチンです。感染性はなく、

安全性は極めて高く、理論的にも妊婦、胎児に対して問題がないものと言われています。

### Q6 いつワクチンを接種すればよいですか？

ワクチン接種後2～3週間程で効果が出現し、約3～4ヵ月間防御免疫能を有します。従ってインフルエンザシーズン(12月～2月)の直前までに接種することが必要です。また、去年接種しているから大丈夫とは考えずに、毎年接種することを妊婦さんにはお勧めします。

### Q7 授乳中にも接種できますか？

授乳中の母親、子どもさんにインフルエンザワクチンが影響することはなく、通常非妊婦と同様にワクチンを接種することができます。

### Q8 インフルエンザに罹った場合の治療薬の妊娠への安全性は？

現在日本においてインフルエンザの治療薬(タミフル、リレンザ、イナビル等)が使用され、効果を上げています。これらの薬剤は動物実験では胎盤通過性が確認されています。しかし、近年の調査では、インフルエンザ治療薬服用例において、一般集団と比較して先天異常、流産、早産、胎児発育不良について明らかな増加は認めませんでした。従ってインフルエンザ患者と濃厚接触した妊婦さんの予防投与を含め、肺炎等の重症化を回避するためにも、インフルエンザに罹った妊婦さんには投与することの有益性が不利益を上回る可能性があるとの判断のもと、治療薬の投与を推奨しています。

### ■ 最後に

インフルエンザシーズンにあたって、妊婦さんは特に重症化を回避するためにも、インフルエンザワクチンの接種を行い、インフルエンザの予防に努めることが大切です。

### 【今月の担当】

齊藤慶弘(さいとう よしひろ)  
お産が大好きな産婦人科医師。松本市出身で3女の父です。趣味は庭木の手入れ。平成27年4月より地元の松本市立病院勤務となり、家族も喜んでます。



松本市立病院

Matsumoto City Hospital

〒390-1401 松本市波田 4417-180

TEL(0263)92-3027(代表)

http://www.hp-hata.com/

■ 受付時間 8:15～11:30

■ 産婦人科は予約制です。詳細は平日の15:30～17:00にお電話でお願いいたします。

■ 予防接種受け付けしています。ご相談ください。



■このコーナーへのご意見、ご質問がありましたら、お寄せください。また、「こんなテーマでレクチャーしてほしい」といったご要望もお待ちしています。